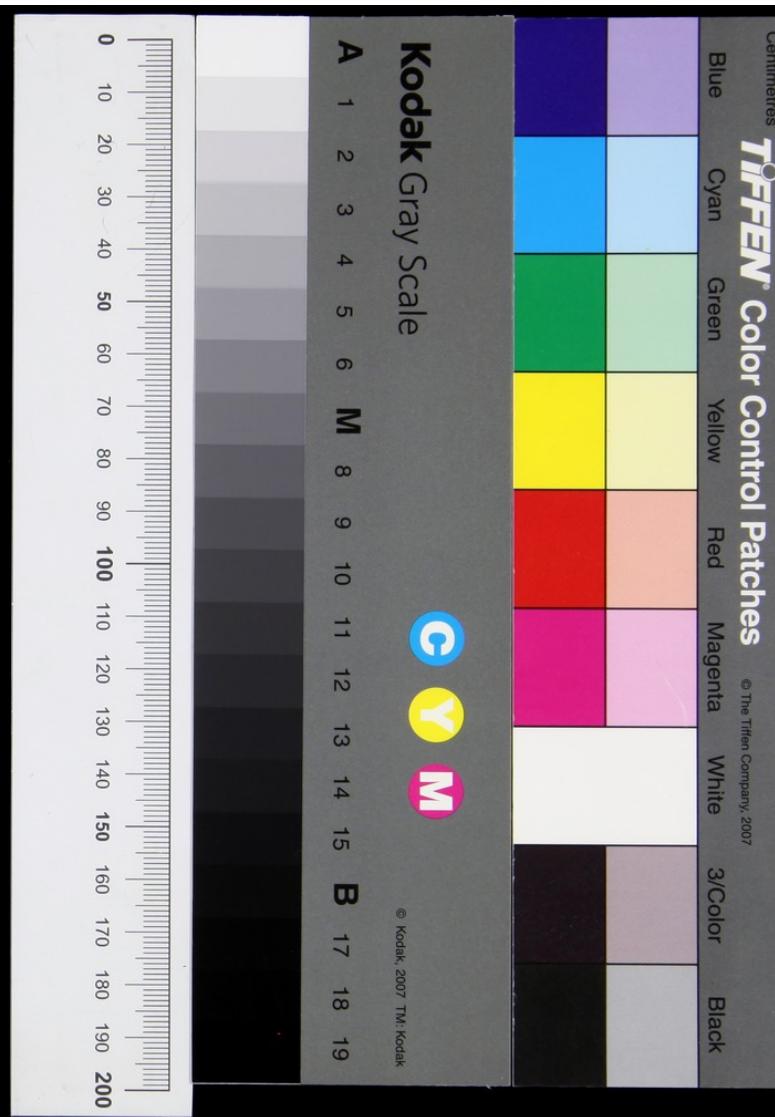
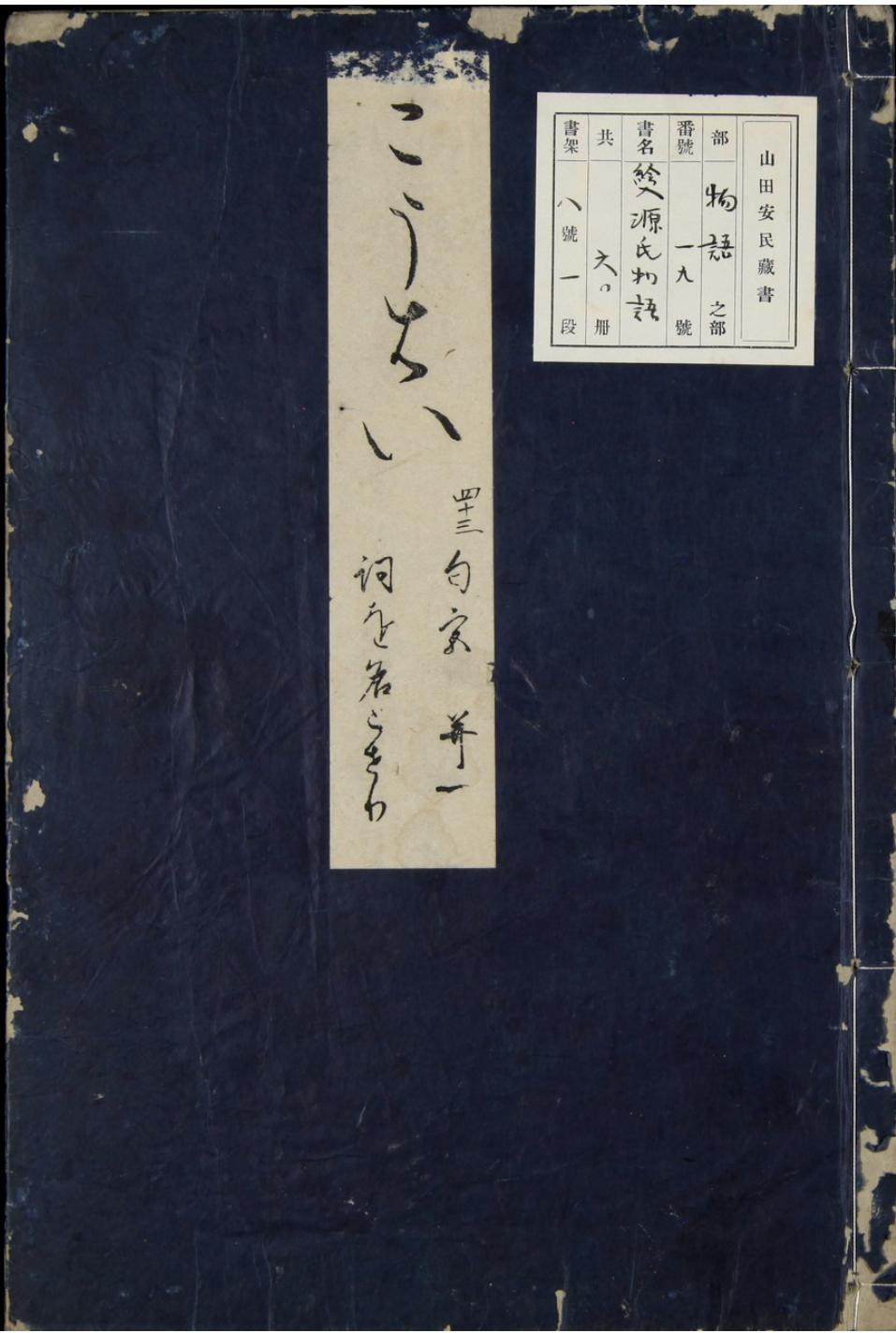


# 絵入源氏物語

## 巻四十三 こうばい

楣山女学園大学デジタルライブラリー

楣山女学園大学図書館



菊井のものより  
 そなへ候奉大納言とくらむゆうはお牧はの  
（此後大納言）  
 次第あり。所候うへち清つきのうつまじよ  
 とうらうくじ。もやうら心ぞへれし給  
 人ふす。ううのびり給うへ月うそて。よつて  
 ひそせ。わうひあう。わくまへうへうく  
 まくのとやんぐくわうりう。かうくわうまれ  
 うへと。まくわうれもくわうりう。いも地へう  
 後のゆききたのゆひすみ。うさざらもうちれ  
 ごくへおへくまくは。或くのえうて。お母の  
 るくわくせとくへうへと。まこくをみて。後。お  
 つりへおへと。辛月づれじえもくも



二人の事より、おれは、神仙の事。  
 さて、今の事、おもひにまづうけかへ。  
 古文の事、おもて、おも一不がりす。さて、この事、い  
 ざれをもあらへ。さて、心をもとへん人を。  
 をのくわうのくちとこびりしるもあらねば  
 どくうちよびり、ちゆうひきとくもりで、  
 せわじがのくちとくもり。せわじがのく  
 くちとくもり。せわじがのくちとくもり。  
 くちとくもり。せわじがのくちとくもり。

かうじ行す。すくくかくうびゆれば、せきをあらぐる  
 そそきもうりぬ。せきのえんが、ひこうくわくす  
 つうて、南かきて、大納言の御の御の御、西の中の  
 お東の御の御の御とすまとまうりゆくう。あくこ  
 くらうとくとく。やのちくとくぬ心づく  
 やうられどくちく、あとのむくとくめむくやと  
 そく、ゆくのゆく、ゆくのゆくとくめむくやと  
 そく、ゆくとく。げるあくまくとく、お手のく  
 づくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

まつりのいつきあらう。さうとひそみのいへえやう。  
じた納みおみ。アタマのゆへうをまきさんと  
くわべおみ。うちあくと。づくひあうと。まくと。  
べよがざんえ。づくと。ばえめ。くわく  
くわくと。うそせと。まくと。くわくと。くわくと。  
くわくと。づくと。くわくと。くわくと。くわくと。  
くわくと。くわくと。くわくと。くわくと。くわくと。  
くわくと。くわくと。くわくと。くわくと。くわくと。  
くわくと。くわくと。くわくと。くわくと。くわくと。



## 二五

まよひのへがつゝやまとくのくもとく  
 さりひちあてよゆす。山中  
 やすれよ人の中よりぬり。山中  
 ひよきめへとどけどこれ。のめ  
 うすむすばやわん。とせ中のう  
 くはり。とせ  
 まよひのへのうめぐらむ。とせ  
 づく。とせのうめぐらむ。とせ  
 むたゞとせのうめぐらむ。とせ  
 のうめぐらむ。とせのうめぐら

やんが風の音をうすくきゆる  
あらゆる一處かうわとくわでまくへさせり。  
おまかへまくへかくぬ地約ざりへりどその  
うへまくへかくへよおまびゆぢちやく  
さるまくへのまくへばくまくへひくまくへ  
ゆくまくへばくまくへとあまびされじ  
うけむれ毬<sup>い</sup>のあん者<sup>そ</sup>くゆかふるま院の  
まくへかくのゆくあんびせりありゆゑ  
源中納<sup>白</sup>のえちよくの者<sup>ひ</sup>くす  
さとうまくへゆくゆくゆくゆくゆくゆく  
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

てげひづくらまくびうごりをとやんゆく  
よたまくびはすとがりうをとれひととのひこ  
きくまくびはすとがりうをとれひととのひこ  
あまくまくよすとがりうをとれひととのひこ  
とれひととのひことれひととのひこ  
やのくまくよすとがりうをとれひととのひこ  
さんやかくまくよすとがりうをとれひととのひこ  
まくよすとがりうをとれひととのひこ  
まくよすとがりうをとれひととのひこ

鳥羽

まくよすとがりうをとれひととのひこ

まくよすとがりうをとれひととのひこ

まうのくわづくくらしをとおる。つ  
 ち  
おれへけへんね柳橋  
 葉落すよむとてまきて給ゆつりまく  
 とひきえよすくわわまくうんとく  
 前の山壁山壁すくすくもすれど  
 ゆくつゆくよとくかく地みだまく  
あひとどき器  
 うかひりじくはあすちりやけ  
 じうれりうそよめでよあすしきあら  
 ちゆくあるまくせりへ地めみくさん  
 くとよせしよせらよとくくさく

うかくすくすくまゆら  
 つふくれたう声音して。北東の山よりのさ  
 うくを紅梅のつぶらゆくゆくとくと  
はあが  
 ちまの葉。うくをかへあらわもう。北東のま  
 まくらがすらう。一枚切りてよつれもうんとく  
 とく。あられひる満げのゆくゆくうりのちあ  
 あいがくくはくはくはくはくはくはく  
 はくはくはくはくはくはくはくはくはく  
はくはく  
 られんとゆくふれたり。國をれども、うけ  
 うもくはくれども、うもくはく

ひのまへやわらさんばくをふせぎたる  
 わせをもとめどりて。けじゆく人のことれきを  
 うそかうよはうけの今うじゆうへ  
 そがれをもとめどりて。お表すまく  
 さひうづきをれぬづかでのおのびく  
 やぶれがくくくまつまく。いふ。  
 びくくくくくくくくくくくくく  
 くれぬよきくあむだ。阿敷あふえん  
 ニシバニシバのくくくくくよ。おひきのわ  
 けりを。P.  
 1  
 1  
 1

居  
 あつてほのうのうの子園こゑんの海うみよまくう。う  
 されよだよやわらさんばくのうつやく  
 えれえれのうくくく。うくくく  
 て生なまくよはく。うくくく  
 まく

中<sup>ゆき</sup><sub>ノ</sub>家<sup>いえ</sup>の<sup>く</sup>人の<sup>の</sup>つ<sup>れ</sup>は<sup>れ</sup>う<sup>き</sup>と<sup>れ</sup>わ<sup>ざ</sup>く  
 そ<sup>の</sup>せ<sup>は</sup>は<sup>ど</sup>う<sup>り</sup>. お<sup>ど</sup>べ<sup>あ</sup>ま<sup>み</sup>を<sup>く</sup>り<sup>う</sup>  
 よ<sup>う</sup>中<sup>う</sup>う<sup>き</sup>. う<sup>き</sup>け<sup>ま</sup>す<sup>て</sup>。 ひ<sup>の</sup>日<sup>ひ</sup>も<sup>ち</sup>ど<sup>う</sup>  
 そ<sup>う</sup>は<sup>ま</sup>く<sup>で</sup>。 う<sup>き</sup>よ<sup>う</sup>つ<sup>く</sup>さ<sup>く</sup>ら<sup>う</sup>の<sup>る</sup>  
 う<sup>き</sup>き<sup>く</sup>で<sup>く</sup>く<sup>と</sup>く<sup>か</sup>。 う<sup>き</sup>き<sup>く</sup>う<sup>き</sup>く<sup>と</sup>く<sup>か</sup>  
 が<sup>う</sup>う<sup>き</sup>と<sup>く</sup>の<sup>の</sup>つ<sup>れ</sup>ば<sup>く</sup>ま<sup>う</sup>つ<sup>く</sup>や<sup>と</sup>  
 お<sup>ま</sup>が<sup>う</sup>う<sup>き</sup>く<sup>れ</sup>ま<sup>う</sup>め<sup>う</sup>の<sup>の</sup>内<sup>の</sup>か<sup>く</sup>で<sup>す</sup>  
 あ<sup>ま</sup>は<sup>ま</sup>は<sup>ま</sup>は<sup>ま</sup>は<sup>ま</sup>は<sup>ま</sup>は<sup>ま</sup>は<sup>ま</sup>は<sup>ま</sup>  
 ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>  
 ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>



ひのゆきすみゆくみれりぬくらふか  
 うみのいまとうすうりをせられてひくわ  
 みうとのなせらむ。大金羽おほかなと  
 ううらへり、切きつくへてさかへる  
 われば、我わをべへりとふくふれとく。  
 くわうあり。れどやくすみずきづく  
 切きつくへりと、东ひがしくらひあらは、あへのくひ  
 きしてんやく。くわうにふくらひのく  
 つづくよ。えをとせられべくらきくと、ばくしてぬ  
 くわうだくと、うらもとくわくと、おののくのく  
 まれづくわすか。おとひのくにうへる

羽はのまゆまゆかくで、あうへきくはく  
 つゆうを、いもくとうへくとりうへてむくく  
 れとて、くわうめぐらひくまうれびくわうでも  
 てやへ。はくと、おへとれわくわうやうへとくく  
 まくらむれはくはくとくまえくすまもく  
 くへくへくへくへくへくへくへくへくへくへく  
 くへくへくへくへくへくへくへくへくへくへく  
 くへくへくへくへくへくへくへくへくへくへく  
 くへくへくへくへくへくへくへくへくへくへく

中高音白音小字  
 高音高音白音  
 低音中音白音  
 中音中音白音

ゆく。まことにあらわすがこれうりて  
ゆきやるのゆくやすじてそれちの  
まづよ。うけざりあらわす  
まのゆくとれゆべからうきだされ  
くわりとすくまくやがてちゆつりいもくか  
とねぶらせで。おのびやくとくとく  
のう。おもふのとばやくとくじつ  
ふくらむとくとくのねふくとくとく  
とく。例のうくのうくのうくのうく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

此の事はやまくおもつておら。  
やまとをうへておもづくやうに  
うかたのつりであります。おもづく  
あれども、わげものからわれがうる  
すとくろづきのゆきをよしとせざ  
ありて。ふのゆきは、城<sup>城内</sup>のまゝ  
やまとをうちまのゆきをよしとせざ  
よさん。ひきこもれのゆきをよしとせざ  
さうめんも。あづくらやあくまうじよ  
うじようじよ。うじようじよ。

タタリのれもくらうまくいが袖すればそれもえ  
 きわめあやらんとすうべあわれし  
 きもくやまえりくらむくいのれもえ  
 きわめあらわとすうべあわれし  
 ものの後すれもすやどもゆだえより  
 わのれどぐんがくらはくうとけぞり  
 きうをうやまくとおくりくわのままで  
 きくうちううりのとせぬつてよあゑた一  
 とのあうて。まうりせうりー白いのづか  
 うとひとたうとくとくとくのひくゆく  
 うて。まくのまくらびくすまく。じぐれ  
 きべすみめくらう。まくじく  
 めくうりー。うらへ。じくめでぬれ  
 うれびわらうのうのねね。いくせよしとく  
 あくでゆてすれくらう。うつまげ  
 うそ心とくられ。ふくらひしれんゆうはく  
 えふくられ。源中納。くらひしれんゆうはく  
 くらひしれんゆうはく  
 うのせのせいもくらひしれんゆうはく  
 えふくられ。おうう。じくのふくられ。おやく  
 おううをくられ。おうう。じくのふくられ。おやく

十三終  
の爲めにあがむ。まづう  
おもむけ。まづう  
べくもあめ。まづう  
ほのちが。まづう  
きりあど。まづう  
やしづも。まづう  
さす。まづう  
をゆきうら。まづう  
のまわり。まづう  
へりの娘。まづう  
あがむ。まづう

わ  
や  
よ  
の  
べ  
て  
か  
れ  
し  
ま  
る  
う  
き  
り  
す  
く

16

